

早稲田大学

LGBTQ+ 学生生活サポートガイド

Version 9



早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・センター
ジェンダー・セクシュアリティ・センター (GSセンター)

Updated: 2026.03

はじめに

早稲田大学ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）は、本学のLGBTQ+（性的マイノリティ等）学生や、ジェンダー・セクシュアリティに関心を有するすべての人（アライ*含む）の居場所として、また誰もが自由に利用できるセーフスペース兼リソースセンターとして、2017年4月に開設されました。同年7月には本学は「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」を公表して、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ本学構成員が、それぞれの個性と能力を十分に発揮できるよう、学内の環境整備を進めています。

GSセンターでは、こうした本学の「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」および国際的な潮流を踏まえ、LGBTQ+学生への各種支援にとどまらず、ジェンダー・セクシュアリティに関する幅広い相談・支援、啓発イベント等を実施しています。本ガイドの作成・公開も、これらの活動の一環として位置づけられるものです。

当センターでは、開設と同年度末にあたる2018年3月に本ガイドのVersion 1を作成・公開して以来、毎年内容の見直しと更新を重ね、このたび2026年3月にVersion 9を公開する運びとなりました。

本ガイドでは、GSセンターのサポート体制や利用方法に加え、本学各箇所・機関における取り組み、対応、ならびに現状を整理し、まとめています。LGBTQ+学生が自身の状況や必要に応じて情報を確認し、利用可能な支援や相談先を主体的に把握するための手引きとして活用されることを目的としているほか、学生を日常的に支援する教職員にとっても、適切な対応を検討するための参考資料として役立つことを想定しています。

Version 9では、ジェンダー・セクシュアリティに関連する用語解説として、巻末資料に『サークル・課外活動 ジェンダー・セクシュアリティ DE&I ガイドブック』から「多様な性のあり方を【知る】」を一部抜粋しました。多様な性のあり方への理解を深めるための資料として、あわせてご参照ください。

本ガイドが、LGBTQ+学生の学生生活における不安や困難を軽減する一助となるとともに、本学の構成員であるすべての人が多様なあり方を理解し、尊重しながら学び合うための基礎資料として活用されることを願っております。

今後もGSセンターでは、LGBTQ+学生にとって安心安全で包摂的なキャンパスづくりを目指し、各箇所・機関との連携を一層強化しながら、本学におけるサポートの範囲の拡充および質の向上に継続して取り組んでまいります。

2026年3月 GSセンター

*アライとは、「LGBTQ+を理解し、共感するという考え方、あるいはそうした立場を明確にしている人」だとGSセンターでは認識しております。これ以外にもアライの考え方は存在します。

目次

早稲田大学ダイバーシティ推進宣言	1
第1章 相談・サポート体制	
01 GS センター個別相談	2
02 個別相談の流れ	3
03 英語での相談、もしくは英語と日本語の併用での相談を希望する場合	5
04 学内の紹介先	5
05 イベント開催	7
第2章 性別情報や氏名の管理・収集・変更	
01 性別情報の管理と収集	7
▶性別情報の管理	7
▶性別情報収集の必要性の見直しに関する取組み	8
02 学籍上の性別変更（2026年3月現在）	9
03 法律上の氏名に変更があった場合	9
04 通称名の使用	9
▶自認する性に基づく通称名の使用を申請する場合	10
▶通称名使用の申請にあたっての注意	10
▶通称名使用時における本人名義口座への振込	11
▶生協組合員証の名前表記	12
05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項	12
▶在学時に届出済みの通称名での交付を希望する場合	12
▶在学時と異なる氏名（通称名含む）での交付を希望する場合	12
06 学生証に使用される顔写真	13
第3章 授業の履修	
01 授業・ゼミでの配慮	13
▶オンライン授業での配慮	14
02 介護等体験・教育実習	15
▶介護等体験の流れ	16
▶教育実習の流れ	17
第4章 学生生活	
01 早稲田大学 UD（ユニバーサルデザイン）マップ	18

02	学生定期健康診断	18
03	セミナーハウス	19
	▶利用の流れ	19
	▶配慮に関する相談フロー	22
04	正規学生寮（国際学生寮 WISH を中心に）	23
	▶入寮申し込み（各寮共通）	23
	▶法律上の性別を基準とした学生寮	24
	▶部屋割りと生活フロア、トイレ、入浴（WISH）	25
05	交換留学生寮	26
06	トレーニングセンター	26
	▶利用登録	26
	▶更衣室（ロッカールーム）	26
07	多目的運動場	28
	▶だれでも更衣室	28
第5章 就職活動・キャリア		
01	履歴書	28
02	就職活動・キャリアに関する個別相談	28
03	卒業生訪問	29
04	企業情報	29
05	イベント	30
第6章 留学		
01	日本から海外へ / 派遣留学生サポート	30
	▶海外協定大学との連携体制	30
02	海外から日本に / 留学生サポート	31
	▶トランスジェンダーやノンバイナリー学生の受け入れ体制	31
	▶コミュニティの紹介	32
第7章 多様なマイノリティ性を持つ学生への対応		
01	GSセンターの利用	33
	▶英語など日本語以外の言語による対応を希望する場合	33
	▶移動に困難があったり、車いすを利用している場合	33
	▶そのほか、GSセンターを利用するにあたって不安がある場合	34
02	GSセンターが主催する講演会やイベントに参加する際に配慮が必要な場合	34

第8章 入学前の相談や入学試験実施時の配慮	
01 入学時から通称名を使用したい場合	34
02 入学試験出願時の性別情報の収集	34
03 受験時および就学に際する配慮申請	35
04 ジェンダー・セクシュアリティに関する学生生活について相談したい場合	35
本ガイドへのお問い合わせ	35
対応窓口一覧	36
巻末資料「多様な性のあり方を【知る】」、基礎用語	38

早稲田大学ダイバーシティ推進宣言

一人ひとりの多様性と平等を尊重します。

“Respect each other, respect equality and diversity”

早稲田大学は創立以来、内外の多様な人々に広く門戸を開いてきました。また創立150周年を迎える2032年に向けてWaseda Vision 150を策定し、教育・研究の質を飛躍的に向上させ、世界に貢献する大学であり続けることを目指しています。

しかし、教育・研究・就労の場におけるダイバーシティ推進という側面からみると、本学には、なお多くの課題があります。新たなVisionを実現するためには、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢などにかかわらず、本学の構成員の誰もが、尊厳と多様な価値観や生き方を尊重され、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

そのためにも、早稲田大学はここに、多様な知を結集して創造的な教育・研究活動を行い、社会の発展に資することを大学の使命と考え、ダイバーシティの尊重・推進に努めることを宣言します。

ダイバーシティ推進基本方針

1. 早稲田大学は、ダイバーシティ推進に関する意識を啓発し、本学の意思決定においては、構成員の多様な意見が尊重されるよう努力します。
2. 早稲田大学は、すべての構成員が個性と能力を発揮し、ワークライフバランスを実現できる教育・研究・就労環境を整備します。
3. 早稲田大学は、合理的配慮を必要とする構成員に対する支援体制を整備します。
4. 早稲田大学は、ダイバーシティの視点に立った人的構成と人材育成を推進します。

2017年7月1日
早稲田大学

第1章 相談・サポート体制

● 01 GSセンター個別相談

早稲田大学ではスチューデント・ダイバーシティ・センター（※）にジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）が設置されています。

（※）早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・センターとは

人種、エスニシティ、国籍、ジェンダー、セクシュアリティ、障がいの有無、宗教、年齢などにかかわらず、多様な学生の豊かな学生生活環境の確保と、多様な価値観や生き方を受容するキャンパスづくりの推進を目的に、ICC（異文化交流センター）、アクセシビリティ支援センター（ARC）、ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）、学生相談センター（SCC）の4つのセンターで構成されています。

GSセンターでは、主に早稲田大学の学部・研究科・芸術学校・附属機関の学生、附属校の生徒を対象に、ジェンダー・セクシュアリティに関する疑問や違和感、心配事、現在や将来的なご自身のウェルネスなどの相談対応やサポートを、対面とオンラインにて受け付けています。

ジェンダー・セクシュアリティに関する専門性を持つ職員（以下、専門職員）が、プライバシー厳守のもと可能な範囲で対応します。相談内容によっては相談者の同意のもと、学内・学外の適切な機関を紹介し、連携してサポートします。学生・生徒本人のご家族（保護者等）および教職員の相談も受け付けています（学生・生徒関連の相談に限ります）。

詳細な開室状況や運営状況については、Webサイトを確認してください。

スチューデント・ダイバーシティ・センター ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）	
場所	戸山キャンパス 30号館（学生会館）1階
開室時間	平日 10:00-16:00 ※開室状況の詳細は、Webサイトで確認してください。
E-Mail	gswaseda@list.waseda.jp
Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/gscenter/
Instagram	https://www.instagram.com/gscenter.waseda/
Note	https://note.com/gscenter/

● 02 個別相談の流れ

通常は、Web サイト「[GS センター個別相談予約フォーム](#)」よりお申し込みください。また、来室して雑談をしている流れの中で、具体的な相談を始めたいと感ずることもあるかと思ひます。そのような場合、個別相談の枠が空いている場合に限り相談を受け付けられるので、まずは気軽にお越しください。

■相談トピックス例

- ・自分の性のあり方をもっと理解したい。
- ・アライ (Ally) としてレベルアップしたい。
- ・社会的なジェンダー規範が苦しい。
- ・LGBTQ+コミュニティの人間関係のことで悩んでいる。
- ・ジェンダー・トランジション (性別移行) やカミングアウトについて考えたい、情報が欲しい。
- ・性暴力など (過去の経験を含む) について話したい。
- ・GS センターやジェンダー・セクシュアリティ、SOGIE ハラスメントやその対応などについて情報収集したい。

▶予約方法

個別相談予約フォームと直接来室での予約が可能です。

個別相談予約フォーム使用の場合

呼ばれたい名前、相談したい事柄 (チェックボックス方式)、相談希望日時、相談形態 (オンラインか対面)、相談に使用する言語 (日本語か英語)、受付場所 (GS センター内の受付ではなく、専門職員と直接別室での受付を希望するか)、メールアドレスなどを入力いただきます。GS センターからのメール返信にて予約を確定します。

来室しての予約・ワークインの場合

個別相談予約フォームの利用に抵抗を感じる場合は GS センターに来室し、職員にお声がけください。専門職員と直接の相談予約が可能です。また、GS センター来室中に学生スタッフや職員と話すうちに個別相談の利用が適切だと判断される場合なども、その場で予約可能です。個別相談枠の空き状況によっては当日の相談も可能です。

☑ GS センター個別相談予約フォーム

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=VuUHpbrJvHQWbVVFxR_6A

▶相談当日

❖ 対面相談の場合

- ◆ GS センターに直接お越しいただき、スタッフの案内のもと GS センター利用者受付を済ませてください。受付後、専門職員が個別相談室に案内します。

- ◆ 予約時に GS センター内の受付ではなく、専門職員と直接の別室での受付を希望された方は個別にご連絡した場所にお越しください。

❖ オンライン相談の場合

- ◆ ミーティング情報（URL）を含む招待メールを事前にお送りします。当日は相談環境を整え、参加してください。相談者側の画面表示および音声のオン/オフについては、相談者に一任します。

▶相談実施

守秘義務のもと、専門職員が担当します。相談内容に応じ、情報提供や、相談者の同意のもと学内連携などを行うこともあります。なお、相談が50分を超える場合、継続的な支援を必要とする場合、本人の希望がある場合は再度日程調整を行い継続相談となります。詳しくはGSセンターのWebサイト『サービス』のページ内にある「[個別相談](#)」を確認してください。

☑ 個別相談

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/more/consultation/>

▶相談時のお約束

1. GS センターでは、ジェンダー・セクシュアリティに関係することだけでなく、ジェンダー・セクシュアリティに関する事柄に影響を及ぼしている間接的な話題についても相談することができます。
2. 専門職員は、相談者の話を聞き、その悩みに寄り添い、お話を聴きます。面談を通じて、専門職員と一緒に、相談者のしたいこと（自己理解、課題の可視化・明確化、課題解決、自己実現など）を、相談者自身が主体となって叶えていくためのサポートをします。
3. 専門職員は、伺った相談内容を守秘し、GS センター職員間での情報共有以外に他言しないことを約束します。よって、相談内容が他者に漏れることはありません。
4. 具体的な問題解決が必要な場合は、相談者の合意のもと、学内外の関係機関との連携を図ります。ただし、万が一相談者あるいはその周囲の方の生命の危険があると考えられる場合は、相談者あるいはその周囲の方の合意を得ずとも、緊急対応として然るべき機関との連携を図ることがあります。
 - ▶生命の危機に陥るリスクが高まっていると見立てられた場合、学籍情報の確認、主治医の有無の確認、主治医等との連携に際しての情報共有の範囲に関する同意を得るプロセスを別途行います。
 - ▶また、生命、身体の安全を守るために危機介入が必要であるとスチューデント・ダイバーシティ・センター長が判断した場合には、①かかりつけ医療機関、学部・研究科、保健センター、その他大学関係箇所（教務課、人事課、学生生活課、留学センター、総務課等）、保護者等と連携して対応しま

す。②その際 GS センターが保持している学籍情報や医療情報、危機状況と現在までの GS センターとしての対応等の個人情報を、①の関係者・箇所と共有します。

5. 年度ごとに公開する GS センターの活動報告書には個別相談の延べセッション数を記載しますが、データは匿名化され、相談内容やその他の個人情報が公開されることはありません（※2022 年度活動報告書より表示形式変更）。ただし、相談内容や、学内の他箇所連携ケースに関しては、集計・匿名化して学内の会議等で報告することがあります。特に、教職員による不適切・不十分な対応について相談された場合、相談者の安全を脅かす事象として学内のコンプライアンス推進室や他関係箇所に報告する場合があります。相談者の個人情報を出さずに報告することができますが、事象が発生した箇所や相手の情報については報告の対象になります。
6. 心理療法や心理検査などを行うことはできません。
7. GS センター職員は、基本的知識は提供しますが、職員個人のジェンダー・セクシュアリティを含め詳細な情報提供は行っていません。課題・研究等（レポート、卒業論文、学会発表、調査、テストなど）の目的の方には、学びの機会を提供するため、書籍を中心としたリソースを案内しておりますので、あらかじめご了承ください。
8. GS センター外では、第三者からの関係性の詮索を防ぐため、こちらからは挨拶をしたり話かけたりはしません。
9. 相談セッション中や大学在籍中は、専門職員が私的理由で連絡先を交換することはありません。

● 03 英語での相談、もしくは英語と日本語の併用での相談を希望する場合

個別相談予約フォームは日本語と英語が併記されています。相談形態と言語を選択する箇所で、「英語でのオンライン相談」か「英語での対面相談」を選択してください。また、「第7章 01 GS センターの利用」も併せて参照してください。

☑ GS センター個別相談予約フォーム（日英併記）

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=VuUHpbrJvHQWbVVFxR_6A

● 04 学内の紹介先

ジェンダー・セクシュアリティについて悩むことで精神的に大きな負担が生じることがあります。相談内容によっては、学生相談センター（2025 年 5 月までの名称 保健センター 学生相談室）を紹介し、連携して対応に当たります。学生相談センターでは臨床心理士が常駐しており、じっくり相談することができます。

また、『[早稲田大学におけるハラスメント防止に関するガイドライン](#)』に関わる事案についての対応や相談を大学に希望される場合には、コンプライアンス相談窓口を紹介します。

キャリアや就職活動に関して相談したい場合には、キャリアセンターを紹介しています。

☑ 早稲田大学におけるハラスメント防止に関するガイドライン

<https://www.waseda.jp/inst/harassment/about/guideline>

学生相談センター	
場所	早稲田キャンパス 25-2 号館 6 階
開室時間	平日 9:15-13:00、14:00-17:00
Phone	03-3203-4449 (予約優先)
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/scc/

コンプライアンス相談窓口 ※詳細は各窓口 Web サイトにて確認してください。	
▶学外窓口 (NEC VALWAY 株式会社) ※英語・中国語対応可能	
受付時間	月～金 8:30-19:00 / 土 8:30-17:00
Phone	0120-123-393
Web サイト	https://koueki-tshou.com/WFcXVtaEFdCd/
▶学内窓口 (コンプライアンス推進室)	
Web 申請 フォーム	https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=UtkMT7RhkKxc5J_GUat8g
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/harassment/ (ハラスメント防止委員会 Web サイト)

キャリアセンター	
場所	戸山キャンパス 30 号館 (学生会館) 3 階
開室時間	10:00-16:00
E-mail	career-appt@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/

● 05 イベント開催

ジェンダー・セクシュアリティに関心のある学生同士がゆるくつながることができる場として、イベントを定期的で開催しています。比較的自由なテーマでおしゃべりをする少人数の集まりや、特定のテーマを設定して話し合ったり、ゲストを招いたイベントなどがあります。あるテーマに関して当事者性をもつ学生限定のクローズド・イベントを開催することもあります。イベント情報は、GSセンターWebサイトのほか、「GSメンバーシップ」でも情報発信しています。

☑ GSメンバーシップ登録フォーム

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=A9ju0ouT3KVweua3Bgu_jg&subsessionWindowId=



第2章 性別情報や氏名の管理・収集・変更

● 01 性別情報の管理と収集

▶性別情報の管理

早稲田大学では、各種証明書、出席簿、手続書類から性別欄を削除するなど本人の意図しない形で法律上（戸籍など）の性別や学籍上の性別が公表されることがないようにすべく厳重に管理しています※。万が一、アウティング（本人の同意なしに、その人の性自認・性的指向・恋愛の指向、ジェンダーヒストリー〔例：ある人が出生時に割り当てられた性別、名前、ある性別に限定された学校に通っていたなど、その人に関連するジェンダー・トランジション等にもつかわる過去の情報〕、病歴〔HIVステータスなど〕などを暴露する行為）の被害を受けた場合や、そのほか学生生活において不安な点があれば、いつでもGSセンターに相談してください。

※現在、早稲田大学は原則法律上の性別情報を取得していますが、性別情報を含む学生個人に関する情報は、学生が所属する学部・研究科等事務所の職員、箇所長や教務主任（教員）など、業務上必要な担当者のみが取扱い権限を付与しています。

出席簿（授業名簿）

各授業科目の出席簿やWaseda Moodleには性別の記載はありません。

証明書の性別記載

本学で発行する証明書関係書類のうち、学内外の関係箇所への申請書類によっては、性別記載が求められる書類もあります。手続きをする上で、ご不明な点、ご不安等がある場合は、GSセンターに相談してください。

▶性別情報収集の必要性の見直しに関する取組み

早稲田大学では、学生や教職員に対する性別情報収集を必要最小限に抑えるため、全学的な取組みを進めています。手続き用紙や申請フォームにおける性別情報収集が合理的な理由（下記参照）によるものかを確認し、合理的な理由であると判断された場合も、可能な範囲で「性別欄」を自由記述にフォームを変更することや、収集目的を明記するなどの対応を取るよう働きかけています。全学的な検証を経て合理的な理由にもとづき、引き続き性別情報の収集や記載を行わざるを得ないとの判断に至った書類についてはリスト化し、その一部を MyWaseda（学内専用：「学生生活」内）に開示しています。

— 性別情報収集に合理的理由があると判断される事例 —

- 1) 「男女」の分けがある施設や設備利用における性別情報の収集
- 2) 医療上の目的における性別情報の収集
- 3) 外部機関の定めた書式・項目における性別情報の収集
- 4) 既存の性差別（男女間にある差別・不均衡）を是正するために、まずジェンダー比を明らかにすることで問題を可視化し、そのデータから改善を行うためにポジティブアクションを起こしていく指標とする目的における性別情報の収集
- 5) 学問的研究の目的における性別情報の収集
- 6) 社会調査、統計資料作成などにおける性別情報の収集
- 7) その他、合理的かつ妥当と判断される状況における性別情報の収集

ダイバーシティ推進室では、上記の性別情報の管理に関する取組みや、「だれでもトイレ」「だれでも更衣室」などの施設整備、また、ダイバーシティやジェンダー・セクシュアリティに関するオープン科目の提供、「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」の発行や研修、セミナー（「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンセミナー」など）の実施など、大学全体の施策の企画を担い、GSセンターと連携しながら全学的なダイバーシティの推進に取り組んでいます。

☑ 性別情報収集に関する本学の方針および取組みについて

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

ダイバーシティ推進室	
Phone	03-5286-9871
E-Mail	diversity@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/diversity/

● 02 学籍上の性別変更（2026年3月現在）

法律上の性別に変更があった場合は、学籍上の性別を変更していただくことになります。「氏名変更届」の「戸籍変更に伴うその他の変更事項」にて性別を選択できるようになっているため、氏名変更届とその変更が分かる書類の2点を用意し、所属学部・研究科等事務所に問い合わせの上、学籍上の性別の変更手続きを行ってください。「戸籍変更」ではなく、パスポート上、出生証明書上、そのほか法律上の性別表記が変更になった場合でも、同様の届と項目を使用してください。変更手続きをする上で相談したいことがある場合は、所属学部・研究科等事務所のほか、GSセンターの個別相談を活用してください。

● 03 法律上の氏名に変更があった場合

法律上の氏名に変更があった場合は、氏名変更届とその変更が分かる書類の2点を用意した上で、所属学部・研究科等事務所にて変更手続きを行ってください。

☑ 氏名変更届 <https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/2021/02/24/application/#7>

● 04 通称名の使用

法律上の氏名を変更していない場合でも、早稲田大学では以下の理由に該当し認められた場合には、法律上の氏名とは別に通称名を登録し使用できます。なお、通称名を登録する際に、通称名のみを明記するか、法律上の氏名（本名 ※下記参照）と通称名を併記するかを選択することもできます。手続きには「通称名使用願」に加え、下表のとおり通称名使用の理由に応じた書類が必要となりますので、準備の上、所属学部・研究科等事務所にて手続きを行ってください。

※ 本学の書類などでは法律上の氏名が「本名」と表記される場合があるため、本節「04 通称名の使用」においては法律上の氏名（本名）と記載している箇所があります。

通称名使用の理由	様式	申請に必要な書類
1) 本人の「住民票」に記載されている通称名の使用を希望するため	様式 A	住民票
2) 婚姻、または養子縁組により改姓したが、旧姓の使用により教育研究活動における継続性を維持するため		戸籍謄本、戸籍抄本、またはパスポート
3) 自認する性に基づく通称名の使用を希望するため	様式 B	理由の正当性を補足するもの ※例：診断書、GSセンターの意見書
4) その他（理由の記述が必要）		理由の正当性を補足するもの

☑ 通称名使用願

<https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/2021/02/24/application/#7>

▶自認する性に基づく通称名の使用を申請する場合

トランスジェンダーやノンバイナリーなどの学生が上表の「3) 自認する性に基づく通称名の使用を希望するため」通称名使用を申請する場合は、通称名使用願「様式 B」を使用してください。通称名使用願とともに提出する「理由の正当性を補足するもの」としては、性別違和があること、もしくは性別不合状態であることが記載された医師の診断書や GS センターからの意見書が挙げられます。GS センターの意見書を希望する場合は、GS センターの個別相談に申し込みの上、相談してください。通称名の使用が認められた場合、各種書類に記載される氏名は、下表のとおりです。

区分	法律上の氏名（本名）	通称名
学生証		通称名を使用
出席簿/採点簿		
証明書	発行時に本人が選択する	
学位記	卒業見込みが立った段階で所属学部・研究科等事務所にて確認し本人が選択する	

なお、通称名を使用する場合、通称名と法律上の氏名（本名）との認証に関しては、本人の責任において行っていただくことになります。また卒業後の対応については本章「第2章 05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項」を確認してください。

▶通称名使用の申請にあたっての注意

- ❖ 通称名使用願を申請し承認された場合には一部証明書等で法律上の氏名の使用（あるいは法律上の氏名と通称名の併記）を希望しない限り、原則、学生生活上のあらゆる氏名が通称名となります。
 (例) 学生証の氏名、出席簿の氏名、Waseda Moodle 等に表示される氏名、Waseda メール差出人として表示される氏名、保護者等へ送付される通知文書に記載される氏名
- ❖ 申請にあたり保護者等の捺印や同意書は求めていませんが、通称名を使用していることを保護者等が知らない場合には、以下のような場合に、思わぬトラブルに発展することも想定されます。
 (例) ペアレンツデー等で保護者等が来校する場合、保護者が大学のイベントに参加する際に学生の氏名が必要な場合、大学から保護者等へ成績通知書やお知らせ等を発送する場合、事件・事故等の緊急対応が必要な場合（大学から保護者等や身近な人、あるいは医療機関に連絡を取る場合）
- ❖ 通称名として申請する漢字氏名の読みが通常の読みと著しく異なる場合や、難読漢字、姓がなく名のみとする場合、戸籍名と異なる姓での申請の場合などで、本学での利用が認められない可能性があります。また、本学での利用実績をもとに法律上の氏名として改名を申請することを検討

されている場合、同様の理由により家庭裁判所での許可が下りない可能性もありますので、本申請の前に、ご自身でも手続き等お調べの上で慎重に検討してください。

- ❖ 通称名と本名との認証に関しては、本人の責任において行ってください。大学が発行する証明書（卒業証明書等）、学外の学会発表、論文投稿等について、本人確認書類等に記載される本名と相違した場合には、別途書類を提出する等して認証が必要となる場合があります。
- ❖ 原則として、各種必要書類提出後に承認可否を審査します。必要書類を入学前に提出いただいた場合でも、通称名使用開始が入学時に間に合わない可能性があります。
- ❖ 通称名は学籍番号ごとに申請が必要です。学部から大学院への進学時など、学籍番号が変更となったタイミングで再申請が必要となります。
- ❖ 同一学籍番号における通称名申請は原則一度のみとなります。ただし、やむを得ない事情であると認められた場合はその限りではありません。

通称名使用申請ができない場合でも、科目担当教員に文書を提出することで授業中の呼称を変更するなど、一部の対応が可能な場合があります。詳細については GS センターに相談してください。また、「第3章 01 授業・ゼミでの配慮」も併せて参照してください。

▶通称名使用時における本人名義口座への振込

通称名使用が認められている場合、早稲田大学学生健康増進互助会（学生早健会）の医療費給付を受けるときに学生早健会の会員証である「学生証」と、「保険証」や「本人名義口座」、「領収書」の名前が一致しないことがあります。その場合でも、同一人物であることを確認できれば、医療費給付を申請できます。また、校内でのスチューデント・ジョブ（TA、RA、研究補助者、臨時職員、学生スタッフ、試験監督員、委託業務等）や学内奨学金に関しても同様の扱いです。ただし、日本学生支援機構および学外団体が運営する奨学金に関しては別途手続きが必要な場合がありますので、奨学課までお問い合わせください。

学生生活課 ①学生健康増進互助会担当、②スチューデント・ジョブ担当	
場所	戸山キャンパス 30号館（学生会館）1階
開室時間	平日 10:00-16:00
Phone	03-3203-4349(共通)
E-Mail	① gakusei-kenko@list.waseda.jp ② sjc@list.waseda.jp
Web サイト	① https://www.waseda.jp/inst/student/support/studenthealth ② https://www.waseda.jp/inst/sjc/

奨学課	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
Phone	03-3203-9701
E-Mail	syogakukin@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/scholarship/

▶ 生協組合員証の名前表記

学生の方は原則、学生証記載の氏名を生協の組合員情報に登録しています。ただし、学生証記載の氏名と異なる組合員情報上の氏名を使用することが可能です。組合員情報の変更に関しましては、下記のサイトよりお願いします。

☑ 組合員情報に変更が生じた場合

https://www.wcoop.ne.jp/news_3/news_detail_1446.html

また、学籍上の通称名を使用されている方で、生協の「univcoop マイポータル」では通称名が反映されているものの、デジタル「組合員証」の名前には反映されていない場合、「大学生協アプリ（公式）」をアンインストールした上でスマートフォンを再起動いただき、それから改めてアプリケーションをインストールいただくと「マイポータル」と同様の名前が表示されます。

● 05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項

▶ 在学時に届出済みの通称名での交付を希望する場合

在学時に届出済みの通称名での証明書交付を希望する場合は、改めて通称名使用の手続きを行う必要はありません。ただし本人確認のため、在学時の氏名（通称名も可）が記載された本人確認証が必要となります。

▶ 在学時と異なる氏名（通称名含む）での交付を希望する場合

原則、早稲田大学では、卒業や退学等の本学離籍後に在学時の氏名（通称名含む）を変更することはできません。ただし、変更しないことで本人に不利益が生じる場合は、変更を希望する理由の正当性等を本学で確認の上、変更を認める場合もあります。

変更が認められた場合でも、学籍情報の変更手続きのため、各種証明書の交付までには 1 週間以上かかることがあります。交付を希望する証明書を取り扱う学部・研究科等の事務所までお早めに相談してください。なお、氏名の変更にあたり、法律上の氏名を変更している場合には戸籍抄本などの公的書類を提出し、変更していない（通称名の使用を希望する）場合には、本章「第 2 章 04 通称名の使用」に沿った書類を提出する必要があります。

● 06 学生証に使用される顔写真

学部の一般選抜を受験して入学した場合、基本的に出願時に提出した写真がそのまま学生証に使用されます。出願時と現在とでジェンダー表現が異なるなどの理由で、学生証の顔写真の変更を希望する場合は、所属学部事務所にお問い合わせください。ご希望の場合は GS センターが学部事務所と連携することも可能ですので、GS センターに相談してください。

学部の一般選抜以外で入学した場合は（大学院や科目等履修生等の非正規生を含む）、上記とは異なるプロセスにて顔写真を提出いただき学生証を作成するケースもあります。詳細は、所属学部・研究科事務所にお問い合わせください。

第 3 章 授業の履修

● 01 授業・ゼミでの配慮

「第 2 章 04 通称名の使用」に記載のあるように、通称名の使用申請ができず授業における呼称や敬称を個別に希望する場合等には、授業・ゼミで個別にその意向を伝えることが必要となる場合があります。さらに早稲田大学では LGBTQ+ 学生を含む多様な性のあり方を持つ学生がいることを想定し、教職員向けに「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」を発行しています。ガイドでは、その場に LGBTQ+ 学生がいることを前提として接すること、共通の敬称を用いること、語学の授業で三人称を使用しなければならない場合に本人が希望する自身の三人称を聞くこと、合宿時の配慮を聞くことなどを明記しています。学生が教員に直接配慮の申し出をすることもできますが、不安や心配、困難があるときは、GS センターが学部・研究科等事務所や教員との間に立って然るべき文書を作成し伝えることも可能です。詳細は GS センターに相談してください。

☑ 「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

■相談事例

- ・通称名を使用すると親にも通称名で書類が送られてしまうので、授業内でのみ呼称使用を希望した。
- ・第二外国語の授業で、バイナリージェンダーに基づかない敬称や三人称を使うよう希望した。
- ・ゼミ合宿では自分の生活上のジェンダーでの部屋割りと、入浴時の個室利用を希望した。

▶オンライン授業での配慮

早稲田大学では対面を基本としながら、オンラインでの授業も実施しています。この際、右図の「オンライン授業・ハイブリット授業の検討および運営に関する6箇条」に基づいた授業運営が推進されています。オンライン授業に関する問題や困りごとがある際にはGSセンターに相談してください。

- ① シラバスに授業や評価の方法を明示します。
- ② 授業形態に応じた適切な教材を提供します。
- ③ フィードバックを効果的に行います。
- ④ 積極的に対話の機会を創ります。
 - └ グループワークを行う場合には授業前に周知
 - └ 学生がグループワークに参加しやすいよう配慮
- ⑤ 学習目標に応じて計画的に課題をデザインします。
- ⑥ 多様な学習環境に配慮します。
 - └ リアルタイムでのカメラのオン/オフに配慮
 - └ 学生の多様性に配慮

☑ 大学総合研究センター「オンライン授業・ハイブリット授業の検討および運営に関する6箇条」

<https://waseda.box.com/s/co4if04ojwkrzfkqsy026wmh3m7klg4>

■相談事例

- ・Waseda Moodle で授業するにあたって、学籍上の名前が表示されてしまい、ジェンダー表現（しぐさや服装など、外見から表現するジェンダー）と異なるので困っている。
- ・Zoom の表示名を学籍上の名前と一致させないとミーティングに入室許可が下りないが、ジェンダー表現と異なるので授業に参加するのをためらってしまう。
- ・家族が同居しているので、ジェンダーやセクシュアリティに関する自分の意見を話しにくい。
- ・同性のパートナーと同居していることが意図せずクラスの人や担当教員に知られてしまい、不安を感じている。
- ・オンライン授業になってより自分の見た目や声を気にするようになり、授業に参加したくない。

● 02 介護等体験・教育実習

介護等体験や教育実習の受入先は、学外機関となります。トランスジェンダーやノンバイナリー学生が望む性別での参加を希望する場合、またはそのほか何らかの対応や配慮を希望する場合、事前に受入先に大学を通じて相談することができます。

受入先との相談・調整には時間がかかるケースもあり、また受入先はすべて学外の機関となるため、受入先の設備等の都合により、必ずしも希望に沿えるとは限りません。そのため、事前登録の前の段階など可能な限り早い段階で教職支援センターに相談してください。受入先への配慮願いの作成では、GSセンターと連携することになります。その場合、教職支援センターから学生に対して、GSセンターの個別相談を受けることを案内し、ヒアリングや面談に進みます。

配慮申請を行う際の体験・実習の流れは、次頁の図を参考にしてください。

また、介護等体験の「体験の周知」や教育実習の「ガイダンス」よりも前の時点で、不安なことがある場合は、まずはGSセンターに相談してください。

早稲田大学教職支援センター	
場所	早稲田キャンパス 16号館 2階
問い合わせ フォーム	https://www.waseda.jp/fedu/tec/contact
Web サイト	https://www.waseda.jp/fedu/tec/

次の表は介護等体験を学部3年次、教育実習を学部4年次に体験・実習する場合のスケジュールです。

▶介護等体験の流れ

時期（目安）	GSセンター	学生	教職支援センター	学生が行うこと
~2年次10月			体験の周知	介護等体験に関する連絡を踏まえ、配慮を希望するか検討する。 ★配慮を希望する場合は早めに相談を開始すること。
2年次12~1月		事前登録		体験先で希望する配慮があれば申告する。
2年次1~3月			希望内容確認	
		ヒアリング		
		配慮願いや作成		
		面談		具体的にどのような配慮が必要かGSセンターの専門職員と面談し、配慮願いの原案を作成する。最終的に学生・教職支援センター・GSセンターの3者で配慮願いの原案を確認しながら、配慮事項を決定する。
3年次4~7月 (体験2カ月前まで)			配慮願い更新	
			配慮申請	教職支援センターを中心に調整を行い、必要に応じて学生・教職支援センター・体験先の3者で実習中の配慮事項を確定する。
3年次7~11月		体験		事前に緊急の連絡先や相談先などを確認し、体験中悩んだことやトラブルがあった際は、緊急の連絡先や相談先などへ連絡する。
3年次体験終了後		フィードバック面談		主に配慮や実際の体験での経験について、学生・教職支援センター・GSセンターの3者で振り返り面談を行う。

▶教育実習の流れ

時期（目安）	GSセンター	学生	教職支援センター	学生が行うこと
2年次2月			ガイダンス	教育実習に関する情報を踏まえ、配慮を希望するか検討する。 ★配慮を希望する場合は早めに相談を開始すること。
3年次7～8月		事前登録		実習先で希望する配慮があれば申告する。
3年次9～11月			希望内容確認	
		ヒアリング		
		配慮願い作成		具体的にどのような配慮が必要かGSセンターの専門職員と面談し、配慮願いの原案を作成する。最終的に学生・教職支援センター・GSセンターの3者で配慮願いの原案を確認しながら、希望する配慮事項を決定する。
		面談		
3年次12～3月 （実習1カ月前まで）			配慮願い更新	
			配慮申請	教職支援センターを中心に調整を行い、必要に応じて学生・教職支援センター・実習先の3者で実習中の配慮事項を確定する。
4年次実習前		実習前確認		緊急の連絡先や相談先などを確認する。
4年次実習		実習		悩んだことやトラブルがあった際は、「実習前確認」で確認した緊急の連絡先や相談先などへ連絡する。
4年次実習終了後		フィードバック面談		主に配慮や実際の実習での経験について、学生・教職支援センター・GSセンターの3者で振り返り面談を行う。

第4章 学生生活

● 01 早稲田大学 UD (ユニバーサルデザイン) マップ

早稲田大学では、バリアフリー情報や保育関連施設、「だれでもトイレ」・「だれでも更衣室」等について掲載した「[早稲田大学 UD\(ユニバーサルデザイン\)マップ](https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/accessibility-map/)」を作成しています。

☑ 早稲田大学 UD マップ

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/accessibility-map/>



▶だれでもトイレの「All Genders」表記

学内の「だれでもトイレ」の一部に、早稲田大学がオリジナルで考案した「All Genders」のサインがあります。「だれでもトイレ」は、文字通り「誰でも利用できる」トイレです。利用者の性のあり方を問うことはありません。どなたでも遠慮なく利用してください。また、すべての「だれでもトイレ」に「All Genders」のサインをつけるよう、現在取り組みを進めています。

● 02 学生定期健康診断

学生定期健康診断は、「個人の健康維持や疾患の予防・早期発見」と「学内の感染症まん延予防（結核など）」を目的とし、学校保健安全法に基づき実施しています。自身の健康管理に役立つ貴重なデータとなるため、毎年必ず受診してください。健診日時は予約制ですが、学部(一部除く)、学年、性別による指定はありません。自身の都合の良い日に受けてください。胸部 X 線検査（対象：当該年度入学者および保健センターから受診指示のあった学生）を除き、健診会場でジェンダー別に分かれることはありません。

- ❖ 保健調査票は、WEB での事前回答と当日直接記入する構成になります。性別記載欄はありません。
- ❖ 胸部 X 線検査は、原則として大学に届け出ている性別や社会生活上の性別に応じて、女性用もしくは男性用に分かれたレントゲン車で行います。着替えは車内あるいは簡易的な更衣スペースで複数人同時に行います。無地の T シャツ 1 枚の撮影を推奨していますが、検査着に着替えることも可能です。保健センターでの個別撮影を希望する方は、GS センターの個別相談にお申し込みの上、相談してください。ただし、個別に検査を受ける際は、検査依頼書に「大学に届け出ている性別」の記載を依頼しています。
- ❖ 尿検査は、北九州キャンパス会場以外では事前採尿を案内しています。各健診会場施設内には、だれでもトイレが設置されています。
- ❖ 医師診察について、担当する医師のジェンダーを指定したい場合は、医師診察ブースの掲示案内をご確認または健診会場スタッフにお声がけください。

☑ 学生定期健康診断詳細 <https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/healthcare/checkup>

● 03 セミナーハウス

早稲田大学では、授業やゼミ、サークル、オリエンテーションの合宿、また個人的な旅行などの、大学の学生・教職員の宿泊を伴う活動に利用できるセミナーハウスを設置しています。予約から利用までの手続きの流れは次のSTEP①～STEP⑤で示しています。これらの各段階で、予約や部屋割り、入浴、トイレ等の、ジェンダー・セクシュアリティに関して相談したいことや個別対応を希望する場合は、予約者（担当教員や代表学生等）を経由することなく、事前の相談により可能な限り対応します。相談や配慮を希望する場合は、学生生活課セミナーハウス担当や、信頼できる教職員、またはGSセンターにお問い合わせください。なお、セミナーハウスによっては設備等の都合により、止むを得ず希望する配慮内容に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

☑ セミナーハウス利用上の配慮

<https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/flow/consideration>

▶利用の流れ

STEP

1 予約者が「予約システム」に利用予約登録を行う

利用団体を代表する予約者（担当教員や代表学生等）が予約システムに利用予約登録*を行う。

My予約 予約状況 宿泊施設予約

次画面へ 戻る

宿泊施設を人数ごとに分割して要望する場合には「追加」ボタンを押して要望設定欄を追加してください。
要望内容をリストから選択し、利用人数（男性・女性）をそれぞれ入力してください。

宿泊施設名称	管平セミナーハウス		
予約者氏名	早稲田 梓		
メールアドレス	xxxxxxx@xxxx.waseda.jp		
利用団体名	早稲田ゼミ		
利用期間	2026/03/13 ~ 2026/03/14		
利用目的	ゼミ		
到着予定時刻	13時00分頃		
連絡先電話番号	00-0000-0000		
利用人数		要望	2026/03/13
			男 女
	学生	追加 【要望無し】▼	
	教職員	追加 【要望無し】▼	

次画面へ 戻る

※現状は、部屋を女性部屋・男性部屋に分けているため、「男女毎の人数」を申請する必要があります。

STEP**2**

予約システムが登録内容から部屋数を割り当てる

予約システムでは、入力された女性・男性の人数から「女性部屋 2 部屋、男性部屋 3 部屋」のように割り当てられます。予約者が認識している性別が入力されることが多いため、意図しない性別の部屋に割り当てられる可能性もあります。

STEP**3**

予約者が「利用者名簿」を作成し、学生生活課セミナーハウス担当に提出する

予約者が「利用者名簿」を作成します。ここでは利用者の氏名、性別、学籍番号、宿泊日といった情報を入力します。STEP①の「予約システム」で入力した女性・男性の人数と一致する必要がありますが、「利用者名簿」の性別は、必ずしも大学に登録している性別（法律上の性別）である必要はありません。

↓ バスの運転手が宿泊する場合は、「教職員番号」の項目に「バス運転手」を入力してください。
↓ 「教職員番号」は、必ず入力してください。

教職員名簿	氏名	フリガナ	性別	教職員番号	1泊目	2泊目	宿泊なし
1	早稲田 香丹	ワセダ アオニ	男	w			
2							
3							

※部屋割りのため、宿泊者全員の性別を記載する必要があります。

↓ 名簿は男女別で入力してください。「学籍番号」は、必ず入力してください。

学生名簿	氏名	フリガナ	性別	学籍番号	1泊目	2泊目	宿泊なし
1	早稲田 茜	ワセダ アカネ	男	1A000001	○	○	
2	早稲田 浅黄	ワセダ アサギ	男	1A000002	○		
3	早稲田 藤	ワセダ フジ	男	1A000003		○	
4	早稲田 萌黄	ワセダ モエギ	男	1A000004			○
5	早稲田 瑠璃	ワセダ ルリ	女	1A000005	○		
6	早稲田 蘇芳	ワセダ スオウ	女	1A000006	○	○	
7	早稲田 朱鷺	ワセダ トキ	女	1A000007		○	

☑セミナーハウス利用者名簿フォーマット：学生生活課 Web サイトからダウンロードできます。

https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/flow#anc_10

STEP**4**

学生生活課セミナーハウス担当が登録された内容を確認する

学生生活課セミナーハウス担当が、「予約システム」で登録された内容と「宿泊者名簿」に記載された内容（利用日や目的、人数等）が一致するか確認します。一致しない場合、学生生活課セミナーハウス担当から予約者に確認の連絡をします。なお、学生生活課セミナーハウス担当が、「予約システム」や「宿泊者名簿」の性別情報と、学籍番号に紐づいた大学に登録されている性別（法律上の性別）とを照合することはありません。

STEP

5

当日、セミナーハウスを利用する

▶各セミナーハウスの個室・風呂・トイレの配慮対応

		軽井沢	菅平	伊豆川奈	鴨川	本庄
部屋	部屋の一人利用	○	○	○	○	○
	ユニバーサル デザインルーム	○	△ (車いす対応トイレ付 部屋あり)	—	—	○
入浴	大浴場の 時間外利用	○	○	○	○	—
	シャワーブース	○	○	—	—	—
	部屋内 ユニットバス	△ (7号棟・グリーン ハウスのみ)	—	—	—	○
トイレ	だれでもトイレ	○	△ (車いす対応トイレ付 部屋あり)	△ (男女共用トイレ)	○	—
	部屋内トイレ	△ (6.7号棟・グリーン ハウスのみ)	○	○	○	○

○:対応可能 △:条件付きで対応可能 —:該当施設なし

☑ セミナーハウスの構内図など：トイレや風呂の位置・内装などをご覧いただけます。

<https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/facility>

▶配慮に関する相談フロー

相談いただいてから、原則として以下の流れで配慮内容が決定されます。

セミナーハウスの利用に関する

配慮相談フロー

確認①

セミナーハウスの利用にあたり、障がい、ジェンダー・セクシュアリティ、宗教、アレルギー等の理由で不安や心配なこと、困っていることがある。



確認②

セミナーハウスの利用にあたり、配慮を希望する。

↓ YES

↓ NO

相談

- 以下の【相談先 A～C】のうち、ご自身の相談しやすい相談先にご相談ください。
- 相談の中で「困っていること」「希望する配慮内容」「情報をどこまで共有していいか」などをお知らせください。

配慮を希望しない場合でも、お困りのことがありましたら、学生生活課までご相談ください。

※予約前でも予約後でも構いませんが、利用直前だと対応できない場合があります。早めにご相談ください。

※詳しいお問い合わせ先は HP をご確認ください。

相談先 A

学生生活課

相談先 B

信頼できる教職員

相談先 C

大学の専門相談窓口

相談を受けた教職員から学生生活課へ情報共有

対応協議

- 安心してご利用いただくための対応を協議・決定します。
- ※相談者との連絡手段・配慮に関する情報共有の範囲等は、相談内容やご希望に応じて柔軟に対応します。

当日利用

- セミナーハウスをご利用ください。
- ※ご利用中に不測の事態があった場合は、セミナーハウス管理人までご相談ください。

学生生活課 セミナーハウス担当

場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
Phone	03-3203-4341
E-Mail	seminar-house@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar

● 04 正規学生寮（国際学生寮 WISH を中心に）

早稲田大学では留学生を含むすべての学生を対象に、大学直営寮や大学提携寮を多数設置しています。ジェンダー・セクシュアリティに関する不安については、対応を検討しますので、直営寮・提携寮いずれの場合も学生生活課学生寮担当まで事前に相談してください。相談にあたり不安がある場合はGSセンターに相談してください。交換留学生寮については、次節「05 交換留学生寮」に記載しています。

▶入寮申し込み（各寮共通）

正規学部・研究科の新生で、学生寮入寮希望者は、早稲田大学に合格後、指定のフォームから以下の流れで入寮の申し込みをする必要があります。学生寮のデジタルパンフレットも参考にしてください。

☑ 学生寮パンフレット https://waseda.rlc.waseda.jp/digital_brochure/Japanese/index.html#page=1

STEP 1

早稲田大学学生生活課学生寮デスク Web サイトの「学生寮入寮申込フォーム」にアクセスする。質問に回答後、「はい」のボタンをクリックする。

※「学生寮入寮申込フォーム」は期間限定でアクセス可能です。

【早稲田大学 学生生活課】
学生寮入寮申込フォーム

お申し込みの前に

入寮申込みフォームに進む前に下記質問にお答えください。
すべて「はい」でない場合はお申込みいただくことはできませんので、予めご了承ください。

<input type="checkbox"/> はい	貴方は早稲田大学の入試に合格し、2026年4月に学部・研究科に入学予定ですか。
<input type="checkbox"/> はい	貴方は正規学生として入学しますか。 ※正規学生とは、学位取得のために入学する学生を指し、科目等履修生・交換留学生・交流学生等は含まれません。
<input type="checkbox"/> はい	貴方は単身者ですか。 ※単身者とは、「未婚者」もしくは「既婚者で、ご家族等との同居を希望しない学生」を指します。
<input type="checkbox"/> はい	貴方は早稲田大学直営寮と早稲田大学提携寮の各契約先や特徴を理解していますか。

国籍
あなたの国籍は、以下のうちどちらにあてはまりますか。
 日本国籍 外国籍 日本と外国の多重国籍

すべての質問にお答えいただきましたか？

STEP 2

入居者情報（学生本人）、保護者情報、希望学生寮について記入して確認の上、送信し、受付番号を取得する。

※ 送信できるのは一度限りのため、入力間違いがないかよく確認の上、入力したデータは手元に控えるようにしてください。

1. 入居者情報入力

メールアドレス (半角英数) ※
(携帯メールはお避け下さい)

メールアドレス (確認用) ※

お名前 (漢字) 姓) _____
例: 姓) 早稲田 名) 太郎
お名前を漢字で表記できる方は

お名前 (アルファベット) ※ 姓) _____
例: 姓) WASEDA 名) Taro

お名前 (フリガナ) ※ 姓) _____
例: 姓) フセダ 名) タロフ

性別 ※ 男性 女性
※男女フロアに分かれている寮を割り当てるため性別情報を収集しています。

※現状では、フロアが男女分けされているため、「男女」どちらかにチェックを入れる形式で性別を回答する必要があります。記入にあたり不安のある場合には、学生生活課学生寮デスクに相談してください。

STEP
3

その後、寮ごとに選考または抽選が行われ、学生に結果が通知される。入寮契約をした後、寮を利用できるようになる。

▶法律上の性別を基準とした学生寮

直営寮/提携寮には

- (1) 法律上の性別が女性である人のみが入寮可能な学生寮
- (2) 法律上の性別が男性である人のみが入寮可能な学生寮
- (3) 法律上の性別が女性または男性である人が入寮可能な学生寮 (女性・男性のいずれかのフロアに分かれて居住する寮と性別を区別しないフロアを有する寮があります)

があります。

各学生寮の募集はデジタルパンフレットを確認してください。

なお、法律上の性別が女性か男性以外のその他の性別の方で、希望する学生寮への入寮手続などに不明点や不安等がある場合には、事前に学生生活課学生寮デスクへ相談してください。

入寮を受け付けている寮生の法律上の性別	学生寮名称
(1) 女性	WID 下井草・WID 所沢・ドーマー (上石神井/花小金井2ほか)・シェアハウスドーマー石神井公園
(2) 男性	WID 花小金井2・和敬塾・シェアハウスドーマー花小金井

(3) 女性または男性	女性・男性のいずれかのフロアに分かれて居住する寮： 国際学生寮 WISH・WID（早稲田/小平/西所沢）・ドーマー（大塚、西新宿、東長崎、東伏見、所沢）
	性別を区別しないフロアを有する寮： クレヴィアウィル早稲田（一部女性限定のフロアあり）・Campus terrace Waseda・Campus terrace 新宿百人町（一部女性限定のフロアあり）・ブランシエスタ早稲田（一部女性限定のフロアあり）

☑ 学生寮デジタルパンフレット https://waseda.rlc.waseda.jp/digital_brochure/Japanese/index.html#page=1

以下、大学直営寮の中で最も部屋数の多い国際学生寮 WISH の説明を中心に現状を記載します。

▶部屋割りと生活フロア（WISH）

申請された法律上の性別をもとに、大学側でフロアおよび部屋割りを決定します。寮室は内側から施錠可能な個室ですが、原則 4 人 1 組を 1 ユニットとしてリビング、洗面台を共用します。共同生活にあたってジェンダー・セクシュアリティに関連する不安がある場合には学生生活課学生寮担当または GS センターに相談してください。

生活フロア（居室、共用リビング、キッチン、シャワー等）は女性用・男性用に分かれており、どちらのフロアに行くかによって使用するエレベーターが異なります。法律上の性別を問わない共用施設（寮管理事務所、専用フィットネスジム、音楽室、ラウンジ、自習室等）は 1 階～2 階のみに設置されています。

☑ フロアガイド https://www.waseda.jp/inst/rlc/student_dormitory/wish/facility/

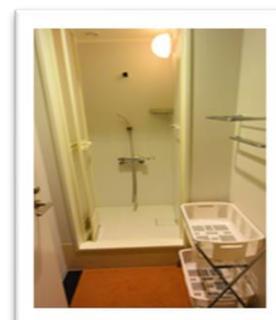
▶トイレ（WISH・共用）

生活フロアの分け方に基づき、女性階（7F-11F）には女性用、男性階（3F-6F）には男性用のトイレが設置されています。2 階には「だれでもトイレ」が設置されています。

▶入浴（WISH）

階ごとに、24 時間利用可能な更衣スペースを含んだ個室シャワールームが 1 フロアあたり 16 室設置されています。また、2 階には法律上の性別に基づく 2 つの大浴場（利用時間 17 時～24 時）が設置されています。

シャワー室内には更衣スペースが設けられている▶



● 05 交換留学生寮

交換留学生寮は交換留学生を対象とする寮で、早稲田大学留学生寮（早大寮）、早稲田奉仕園（奉仕園）、西早稲田留学生寮（西早稲田寮）の3つがあり、3寮全てにオールジェンダーフロアを設けています。

☑交換留学生寮 Web サイト https://www.waseda.jp/inst/rlc/student_dormitory/exchange/

学生生活課の Web サイトに募集要項が公開されています。募集要項内で指定された期限内に所定申込フォームから回答してください。申込フォーム上で希望の寮を選択し、回答に基づき抽選で入寮が決まります。申込フォームには、交換留学生寮で生活するにあたっての、性自認・ジェンダー表現に関する質問や懸念を記入できる欄があります。

学生生活課 学生寮担当	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	10:00-16:00
Phone	03-3203-2634
E-Mail	ryo-form@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/rlc/

● 06 トレーニングセンター

▶利用登録

戸山キャンパス学生会館（30 号館）地下 2 階には早大生・教職員が登録・利用できるトレーニングセンターがあります。利用登録に当たっては「健康診断書」が必要になります。学内で実施している定期健康診断については「第 4 章 02 定期健康診断」を参照してください。また、登録・利用の詳細については以下の Web サイトを確認してください。

☑ トレーニングセンターの利用について <https://www.waseda.jp/inst/student/facility/training>

▶更衣室（ロッカールーム）

更衣室（ロッカールーム）は「女性」「男性」「個室」の3つに分かれています。「個室」は全ての方が使用できますが、2部屋しかない（「トレーニングセンターRoom1」、「トレーニングセンターRoom2」）ため、場合によってはお待ちいただく場合もあります。

また、一度に使用できるのは1名ずつとなります。個室利用の流れは、次頁の通りです。

❖ 使用申請

- ① トレーニングセンター受付（学生会館地下2階）で「利用台帳」の「個室」に○をつける。
（個室を他の人が使用している場合は、最大20分お待ちいただくこととなります。予めご了承ください。）
なお申請は、20:00までとする。

- ② 受付スタッフからロッカーカードおよび個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。
- ③ 20分以内に更衣を済ませる。衣服等の管理は、個室に設置してあるロッカーを使用する。
- ④ 個室を施錠し、個室の鍵のみを受付スタッフに返却する（ロッカーキーは自身で管理してください）。



❖ トレーニング終了後

- ① 受付スタッフに個室利用者である旨を伝えロッカーキーを提示する（個室を他の人が使用している場合、最大20分お待ちいただくこととなります）。
- ② 個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。
- ③ 20分以内に更衣を済ませる。利用したロッカー内の荷物を全て取り出す。
- ④ 個室を施錠し、ロッカーカードと個室の鍵を、受付スタッフに返却する。

❖ 注意事項

- ・トレーニングセンターは21:00で完全閉室するため、個室利用者は20:20を目途に、余裕を持ってトレーニングを終了し、受付で個室の鍵を借りてください。なお、その場合でも最大20分お待ちいただくことがあります。
- ・使用中は個室の内側から施錠をしてください。貸し出しから20分を大幅に過ぎても個室の鍵が返却されない場合は、ロック確認の上で、職員が開錠する場合があります。
- ・鍵の持ち帰り・紛失等の際は理由の如何を問わず、交換費用を負担いただくことがあります。
- ・個室を他の人が利用している間は如何なる理由があっても個室の荷物の取り出し等には応じられません（授業に必要な道具・スマートフォン・財布等を出したい場合でも対応できません）。

● 07 多目的運動場

▶だれでも更衣室

リフレッシュスタジオやサークル活動などで使用されている戸山キャンパス早稲田アリーナ地下1階の「多目的運動場」には、「だれでも更衣室」が設置されています。「多目的運動場」の利用者は、どなたでもこの更衣室を利用していただけます。



学生生活課	
場所	戸山キャンパス 30号館（学生会館）1階
開室時間	平日 10:00-16:00
Phone	03-3202-0706
E-Mail	trainingcenter@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/

第5章 就職活動・キャリア

● 01 履歴書

学生が就職活動で使用する履歴書として早稲田大学が定めたものではありませんが、早稲田大学生生活協同組合で取り扱う、早稲田大学のロゴマークを使用した履歴書に性別欄はありません。

● 02 就職活動・キャリアに関する個別相談

キャリアセンターでは、将来の進路選択やキャリア形成をサポートするために対面およびオンラインで個別相談を行っています。相談は、ジェンダー・セクシュアリティに関する基本的な知識を習得したキャリアセンター相談員が対応します。MyWaseda「キャリアコンパス」から事前に予約が必要になるので下記キャリアセンターWeb サイトを確認の上、予約をお願いします。特に、就職活動中や入社後に性のあり方やそれにまつわる個人情報に関係者に伝えるかどうか、指定のフォーマットに性別欄があった際にどのように書くのか、就職先をどう選んでいくのか等、ジェンダー・セクシュアリティに関する相談に

ついて詳しく知りたい方は、キャリアセンターWebサイトの「ジェンダー・セクシュアリティ×就活・キャリアに関する相談」を確認の上、メールでお問い合わせください。

☑ キャリアセンターWeb サイト <https://www.waseda.jp/inst/career/students/consultation/>

☑ お問い合わせ career-appt@list.waseda.jp（キャリアセンターダイバーシティ担当限定配信）

● 03 卒業生訪問

GS センターでは LGBTQ+稲門会と連携し、LGBTQ+当事者やアライの早稲田大学卒業生のもとに訪問できる仕組みを提供しています。興味のある業界や企業で働いている先輩や、お話を聞いてみたいジェンダー・セクシュアリティの先輩のもとに訪問できる機会となります。利用を希望される方は早稲田大学 GS センターにご連絡ください。

※お申し込みにあたっては必ず申込者本人で判断の上、申込者本人の意思に基づいて行うようにしてください。なお、お申し込み後は早稲田大学の関与はなく原則としてLGBTQ+稲門会と申込者間でのやり取りとなります。

● 04 企業情報

GS センターおよびキャリアセンターでは、就活・就労に関する書籍などのリソース提供や、個別相談による情報提供を実施しています。また、キャリアセンターにおいて実施している「インターンシップフェア」「合同企業説明会」等の参加企業検索画面において「セクシャルマイノリティ（LGBTQ+等）の取り組みの有無で絞り込む」により、企業を検索することができます。そのほか「LGBT フレンドリー企業」については次の団体等の情報も参考にしてみてください。

▶ work with Pride

企業などの団体において、LGBTQ+などの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体。2016年に日本で初めて職場におけるLGBTQ+への取り組みに係る評価指標であるPride指標を策定し、毎年企業の表彰を行っています。

☑ work with Pride <https://workwithpride.jp/>

▶ JobRainbow

「D&I 求人メディア」JobRainbowでは、「ダイバーシティ求人サイト JobRainbow」を運営するほか、「LGBTQ+」「ジェンダーギャップ」「障害」「多文化共生」「介護・育児」の5項目からなる独自の「ダ

イバーシティスコア」を設け、DE&I AWARDにて企業を評価しています。Web サイト上から「LGBT の転職・就活ガイド」にもアクセスできます。

☑ JobRainbow <https://jobrainbow.jp/>

▶ CSR 企業総覧（雇用・人材活用編）（東洋経済新報社）

社会から評価され、長く存続できる会社を見つけるために必須の情報となった CSR（企業の社会的責任）の専門情報誌。「雇用・人材活用編」は、ダイバーシティ、障害者雇用、ワーク・ライフ・バランス支援策などの情報を収録しています。

● 05 イベント

GS センターでは「LGBTQ+&かもしれない人のための就活・就労」と題し、就職活動を終えた LGBTQ+ 学生や、大学卒業後就労している LGBTQ+ の方等を招いたイベントを毎年開催しています。「自分らしく働いてどうすればいい?」「カミングアウトして就活するには?」など、LGBTQ+ 当事者限定の完全予約制のクローズドなイベントです。イベント情報は随時 GS センター Web サイトに掲載しています。

キャリアセンター	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）3 階
開室時間	10:00-16:00
Phone	03-3203-4332
E-Mail	career@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/

第 6 章 留学

● 01 日本から海外へ / 派遣留学生サポート

▶ 海外協定校との連携体制

早稲田大学は約 600 校の海外大学と協定を結んでおり、留学センターではできる限り本人の希望に沿った留学先を選べるようサポートしています。留学先を検討するに当たって、寮や大学施設の状況など、

Web サイト等で情報が得られず受入先の環境に不安がある場合には、留学センターに相談してください。相談内容を踏まえて、協定校への確認・対応の相談をすることができます。

☑ 来室/オンライン相談 <https://waseda-cie-online.resv.jp/>

また、性的指向に関する法律上の扱いや、トランスジェンダーやノンバイナリーの権利擁護については国によってさまざまです。留学先を検討する際には以下のような資料が参考になります。

☑ 「同性間の関係に関する世界地図（2024年6月版）」（作成：認定NPO法人虹色ダイバーシティ）

<https://nijibridge.jp/data/2421/>

☑ ILGA World Maps（英語のみ）（作成：ILGA World）

<https://ilga.org/ilga-world-maps/>

● 02 海外から日本に / 留学生サポート

早稲田大学では、留学生が日本や早稲田大学での生活で孤立しないよう支援をしています。GSセンターの相談では英語を話せる職員が対応をしますが、専門性によっては通訳を介する場合がありますので、ご了承ください。なお、学生寮に関する情報は「第4章 04 正規学生寮、05 交換留学生寮」を参照してください。

▶ トランスジェンダーやノンバイナリー学生の受け入れ体制

トランスジェンダーやノンバイナリー学生の中でも、特に医療的トランジション（ジェンダー受容療法による性別移行）をしている学生は、日本での滞在期間中のジェンダー受容療法やアフターケア等について主治医と相談し準備をした上で渡日してください。日本で医療機関にかかる可能性も踏まえ、主治医から健康状態や療法の状況が分かるもの（英語の紹介状）を持参する事が望ましいです。主治医から処方されている医薬品等を日本に持ち込むにあたっては「[医薬品等の個人輸入について（厚生労働省）](#)」に沿って事前準備を行ってください。

☑ 医薬品等の個人輸入について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/kojinyunyu/topics/tp010401-1.html

自己注射によるホルモン療法を受けている方で、注射器・針の取扱いについてご質問がある場合は、保健センター診療室、もしくはGSセンターへお問合せください。

☑ 保健センター診療室(25-2号館3階) ☎03-(5286)-3984

また、GSセンターでは、必要とされる方にはジェンダークリニックの情報提供を行っています。なお、現在自国で処方されている医薬品が必ずしも日本で承認されていたり、同じ価格帯で取り扱われているとは限らないことにご留意ください。

学生生活においても、通称名使用や寮生活に関する事など、学内機関と連携して対応を検討していきます。早稲田大学への留学が決まりましたら、必要に応じてGSセンターに相談してください。

留学センター	
場所	早稲田キャンパス 22 号館 1 階
開室時間	平日 10:00-17:00
Phone	03-3208-9602
E-Mail	【早稲田から海外へ】 out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】 ex-in-cie@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/cie/

▶コミュニティの紹介

GS センターでは、LGBTQ+学生がアクセスできる学外のコミュニティや多言語対応可能な機関の情報提供も行っているほか、日本語と英語以外に対応可能な職員・学生スタッフが在籍しています。多言語対応については、次章「第7章 01 GSセンターの利用」も併せて参照してください。

また、ICC（異文化交流センター）では日本と世界のすべての人々を歓迎し、学生が主軸となり交流や学びのイベントを年間約 200 回開催しています。フレンドリーな雰囲気の ICC ラウンジには、昼食や休憩をとる多様な学生達が自然と集まってきます。ぜひ ICC のイベントとラウンジに来て、多様な学生と出会い、異文化交流をお楽しみください。

☑ ICC イベント情報 <https://www.waseda.jp/inst/icc/>

スチューデント・ダイバーシティ・センター ICC（異文化交流センター）	
場所	早稲田キャンパス 3 号館 1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
Phone	03-5286-3990
お問い合わせ	https://forms.office.com/r/EDCf3ZUUhR
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/icc/



第7章 多様なマイノリティ性を持つ学生への対応

GS センターでは、先の留学生とあわせて、日本において多様なマイノリティ性を持ち（社会的にマイノリティとされる要素を持つ）、かつLGBTQ+である学生に対しても、学内の関係箇所と連携しながら支援を行っています。居場所についても、テーマトークを実施したり、学外の自助グループやコミュニティの情報提供をしています。GS センターは、様々なジェンダー・セクシュアリティのあり方について学んだり、情報を得たり、相談できる場所です。ジェンダー・セクシュアリティに関心がある方なら誰でも利用できますので、気軽にお越しください。

例

- ・発達障がいのある、トランスジェンダーの学生
- ・留学生であり、アロマンティック（巻末資料「多様な性のあり方を【知る】」参照）の学生

● 01 GS センターの利用

▶ 英語など日本語以外の言語による対応を希望する場合

GS センターでは、原則日本語での対応になりますが、英語など日本語以外の言語についても可能な範囲で対応します。全ての曜日ではありませんが、英語、ロシア語、韓国語（イベントのファシリテートや学外リソースまで紹介できるレベル）、中国語（学内施設を説明できるレベル）での対応が可能な職員と学生スタッフが在籍しています。日本語以外の言語対応が可能なスタッフの出勤日については、GS センターWebサイトのスタッフ紹介を参照してください。

また、イベント参加は事前に連絡をいただくとスムーズです。ご自身で通訳の方を同伴することも可能です。英語での個別相談に関しては、「第1章 英語での相談、もしくは英語と日本語の併用での相談を希望する場合」をご確認ください。

☑ スタッフ紹介 <https://www.waseda.jp/inst/gscenter/about/member/>

▶ 移動に困難があったり、車いすを利用している場合

GS センターのある30号館にはエレベーターが設置されています。ぜひご利用ください。なお、GS センターの相談支援において対面相談を希望する場合は、事前に連絡いただくことで別場所にて対応が可能です。気軽にGS センターまで相談してください。オンラインによる相談やイベントも実施しますので、あわせて活用してください。

▶そのほか、GSセンターを利用するにあたって不安がある場合

GSセンターの利用にあたって不安がある場合はお気軽にお問合せください。多様なマイノリティ性を持つ学生を含む誰もが利用できるよう、学生本人の意向を踏まえ、必要に応じてアクセシビリティ支援センター（ARC）や学生相談センターなど学内の関係箇所と連携して、利用の際の不安の解消に出来る限り取り組みます。

アクセシビリティ支援センター		
	身体障がい部門	精神・発達障がい部門
場所	早稲田キャンパス3号館1階	早稲田キャンパス西早稲田ビル（19号館） 102-10室
開室時間	平日 10:00-17:00	平日 10:00-17:00
Phone	03-5286-3747	03-3208-0587
E-Mail	arc@list.waseda.jp	shien02@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/dsso/	

● 02 GSセンターが主催する講演会やイベントに参加する際に配慮が必要な場合

場内誘導や座席等の調整、情報保障（パソコン通訳等）等について希望する場合は、イベントに関するWebサイトを確認して申請フォーム等にて相談してください。できる限りの対応を検討します。

第8章 入学前の相談や入学試験実施時の配慮

● 01 入学時から通称名を使用したい場合

早稲田大学では、所定の手続きを経ることで入学と同時に通称名を使用することが可能です。承認に時間を要する可能性があるため、早稲田大学への入学が決定したら、お早めに自身の入学する学部・研究科事務所に相談してください。必要な書類は「第2章 04 通称名の使用」を確認してください。

● 02 入学試験出願時の性別情報の収集

早稲田大学では、入学試験と入学手続の必要上、すべての学部・研究科等の入学試験において法律上の性別情報を収集しています。なお、「第2章 01 性別情報の管理と収集」のとおり、早稲田大学では性

別情報収集を合理的理由があると判断される必要最小限に留めており、性別情報が合否に影響を与えることは一切ありません。

● 03 受験時および就学の際する配慮申請

性別違和等を理由に受験・就学の際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち申請を行うことで、必要な配慮が受けられる場合があります。受験する入学試験の入試要項の記載を確認の上、診断書等の書類をご自身で提出する等、所定の手続きによる申請を行ってください。なお、早稲田大学では「ダイバーシティ推進宣言」の精神に則り、法律上の性別情報と、性自認や、社会の中で期待されてしまう「その性別らしさ」が一致していないことによって、合否に影響を与えることは一切ありません。

● 04 ジェンダー・セクシュアリティに関する学生生活について相談したい場合

LGBTQ+の受験生、その保護者やご友人、支援者の方等が、早稲田大学の受験や入学の際してジェンダー・セクシュアリティに関することを相談したい場合は、GSセンターWebサイトの『[お問い合わせ](#)』の『[【学外者向け】お問い合わせフォーム](#)』を通じて相談してください。お問い合わせフォームでは呼ばれたい名前を利用できます。「お問い合わせ・ご依頼内容カテゴリ」で「その他」を選択の上、「お問い合わせ・ご依頼内容」に可能な範囲でGSセンターや早稲田大学での学生生活に関して知りたい事を記入してください。メール、場合によってはオンラインでのリモートもしくはGSセンターでの対面にて対応します。

☑ GSセンター【学外者向け】お問い合わせフォーム

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=DsEzsX5mF0qaBtMJSjmYRA>

本ガイドへのお問い合わせ

ここに掲載した情報は2026年3月時点の状況です。内容に関して不明な点がある場合、事実と相違があると感じた場合にはGSセンターまでお知らせください。安心な学生生活を送るためにはまだまだ情報が足りないと感じている方も多くいることと思います。今回掲載に至らなかった事項についても引き続き調査をし、より一層のガイド内容の充実を目指してまいります。

対応窓口一覧

全般的なお問い合わせ	ジェンダー・セクシュアリティ・センター (GSセンター)	場所	戸山キャンパス 30号館 (学生会館) 1階
		開室時間	平日 10:00-16:00 ※詳細な開室状況や運営状況については、Webサイトをご覧ください。
		E-Mail	gswaseda@list.waseda.jp
		Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/gscenter/
		Instagram	https://www.instagram.com/gscenter.waseda/
		Note	https://note.com/gscenter/

概要	窓口	詳細情報		
悩み・相談に関すること	学生相談センター	場所	早稲田キャンパス 25-2号館 6階	
		開室時間	平日 9:15-13:00、14:00-17:00	
		Phone	03-3203-4449 (予約優先)	
		Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/scc/	
ハラスメントに関すること	コンプライアンス相談窓口	▶学外窓口 (NEC VALWAY 株式会社)		
		受付時間	月～金 8:30-19:00 / 土 8:30-17:00	
		Phone	0120-123-393 ※英語・中国語も対応しています。	
		Webサイト	https://koueki-tshou.com/WFcxVtaEFdCd/	
		▶学内窓口 (コンプライアンス推進室)		
		開室時間	月～金 9:30-17:00	
		Web申請フォーム	https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=UtKtMT7RhkKxc5J_GUat8g	
Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/harassment/			
性別情報や氏名の管理・収集・変更に関すること	▶通称名使用願の提出について			
	所属の学部・研究科等事務所	開室時間等は所属学部・研究科Webサイトで確認してください。 ※診断書が発行されていない場合は、まずはGSセンターへ相談してください。		
	▶通称名使用時の大学から本人口座への振込について			
	学生生活課 ①学生健康増進互助会担当 ②スチューデント・ジョブ担当	場所	戸山キャンパス 30号館 (学生会館) 1階	
		開室時間	平日 10:00-16:00	
		Phone	03-3203-4349(共通)	
		E-Mail	① gakusei-kenko@list.waseda.jp ② sjc@list.waseda.jp	
	Webサイト	① https://www.waseda.jp/inst/student/support/studenthealth ② https://www.waseda.jp/inst/sjc/		
	▶奨学金申請について			
	奨学課	場所	戸山キャンパス 30号館 (学生会館) 1階	
開室時間		平日 10:00-16:00		
Phone		03-3203-9701		
E-Mail		syogakukin@list.waseda.jp		
Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/scholarship/			
▶教職員等への学内啓発や「だれでもトイレ」について				
ダイバーシティ推進室	Phone	03-5286-9871		
	E-Mail	diversity@list.waseda.jp		
	Webサイト	https://www.waseda.jp/inst/diversity/		

教育実習・介護等体験等に関すること	教職支援センター	場所	早稲田キャンパス 16 号館 2 階	
		Phone	03-3232-3599	
		問い合わせ	https://www.waseda.jp/fedu/tec/contact	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/fedu/tec/	
学生生活に関すること	▶セミナーハウスについて			
	学生生活課	Phone	03-3203-4341	
		E-Mail	seminar-house@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar	
	▶学生寮について			
	学生生活課	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階	
		開室時間	10:00-16:00	
		Phone	03-3203-2634	
		E-Mail	ryo-form@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/rlc/	
	▶トレーニングセンター、早稲田アリーナ多目的運動場について			
	学生生活課	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階	
		開室時間	平日 10:00-16:00	
		Phone	03-3202-0706	
		E-Mail	trainingcenter@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/training	
就職活動に関すること	キャリアセンター	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）3 階	
		開室時間	平日 10:00-16:00	
		Phone	03-3203-4332	
		E-Mail	career-appt@list.waseda.jp	
留学に関する こと	▶留学先の受け入れ体制について			
	留学センター	場所	早稲田キャンパス 22 号館 1 階	
		開室時間	平日 10:00-17:00	
		Phone	03-3208-9602	
		E-Mail	【早稲田から海外へ】 out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】 ex-in-cie@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/cie/	
	▶留学生を含むすべての学生が参加できるイベントについて			
	ICC（異文化交流センター）	場所	早稲田キャンパス 3 号館 1 階	
		開室時間	平日 10:00-16:00	
		Phone	03-5286-3990	
		E-Mail	icc@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/icc/	
	アクセシビリティ支援センター	身体障がい部門	場所	早稲田キャンパス 3 号館 1 階
			開室時間	月～金 9:00-17:00
			Phone	03-5286-3747
			E-Mail	arc@list.waseda.jp
			Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/dsso/
発達障がい部門		場所	早稲田キャンパス西早稲田ビル（19 号館）102-10 室	
		開室時間	月～金 9:00-17:00	
		Phone	03-3208-0587	
		E-Mail	shien02@list.waseda.jp	
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/	

巻末資料：「多様な性のあり方を【知る】」、基礎用語

2025年3月発行のGSセンター編集による『サークル・課外活動 ジェンダー・セクシュアリティ DE&I ガイドブック 個人・幹部としてわたしたちにできること』より、「多様な性のあり方を【知る】」（p.5～6）を引用しました。

☑ 『サークル・課外活動 ジェンダー・セクシュアリティ DE&I ガイドブック 個人・幹部としてわたしたちにできること』 https://www.waseda.jp/inst/gscenter/guide/document/#anc_5

多様な性のあり方を【知る】

前述の原因を解決するために多様な性のあり方に関する知識を得ることは大切です。LGBTQ+の個人を肯定する環境をつくるためにも、まずは基本的な用語について知っておきましょう

性を構成する要素 ※ここでいう「ジェンダー」は性別二元論的なものを指さない

性自認 Gender identity

ジェンダーに紐づけ、自分自身が誰であるかをどう理解しているか。出生時に割り当てられた性別と「一致」する必要はない



性別表現 Gender expression

服装や行動などから表現する、自身のジェンダー



性的指向 Sexual orientation

どのようなジェンダーに紐づく要素（性自認や性別表現など）を持つ人に対して性的魅力を感じるか、および感じないか



恋愛指向 Romantic orientation

どのようなジェンダーに紐づく要素（性自認や性別表現など）を持つ人に対して恋愛的魅力を感じるか、および感じないか



出生時に割り当てられた性別 Sex assigned at birth

生まれたときに、しばしば外性器など目視できる範囲での身体の性的特徴を踏まえて、医師や助産師などによって割り当てられた性

もっと知るには？早稲田ウィークリー特集記事：
ジェンダーについて丸分かり！今こそ知りたい基礎知識、教えます



基礎用語

※ここにあげた以外にもたくさんの性のあり方が存在します
ここでは簡潔に説明しています

◆LGBTQ+

性に関するアイデンティティに対して抑圧・差別を受けてきた人たちが団結するために使用し始めた言葉。Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Queer, and Questioning の頭文字にそれ以外の性別規範に沿わない様々なジェンダー・セクシュアリティのあり方を包摂する意味を持つ「+」がついている

◆LGBTQ+学生のアライ (Ally)

LGBTQ+を理解し、共感するという考え方、あるいはそうした立場を明確にしている人だと、早稲田大学GSセンターでは認識している ※これ以外にもアライの考え方は存在する

◆クィア (Queer)

社会的規範の枠外にあるという状態の性のあり方



◆プログレス・プライド・フラッグ
LGBTQ+ のシンボルとして世界的に
使用されています

◆クエスチョニング (Questioning)

自分の性のあり方が不確かな人、もしくはそれを問い直している状態。この状態を通過点と捉えている人、この状態であり続けることを選ぶ人、この状態が持続的な自身の性のあり方だと認識する人もいる

◆レズビアン (Lesbian)

女性もしくはそれに近いアイデンティティをもっていて、ほかの女性に性的および恋愛的魅力、またはそのどちらかを感じる人

◆ゲイ (Gay)

男性もしくはそれに近いアイデンティティをもっていて、ほかの男性に性的および恋愛的魅力、またはそのどちらかを感じる人

◆バイセクシュアル (Bisexual)

二つ以上の性別に性的魅力を感じる人。また、二つ以上の性別に恋愛的魅力を感じる人を「バイロマンティック」と言うが、バイセクシュアルを二つ以上の性別に性的・恋愛的魅力を感じる人の総称として認識しているバイ当事者もいる

◆アセクシュアル (Asexual)

他人に対して性的な魅力をほとんど、もしくは全く感じない人

◆アロセクシュアル (Allosexual)

他者に性的な魅力を感じる人

◆ヘテロセクシュアル (Heterosexual)

主に女性か男性の性自認を持ち、自身とは異なる性自認の人に性的な魅力を感じる人

◆アロマンティック (Aromantic)

他人に対して恋愛的魅力をほとんど、もしくは全く感じない人

◆アロロマンティック (Alloromantic)

他者に恋愛的魅力を感じる人

◆ヘテロロマンティック (Heteroromantic)

主に女性か男性の性自認を持ち、自身とは異なる性自認の人に恋愛的魅力を感じる人

◆トランスジェンダー (Transgender)

性自認と出生時に割り当てられた性別が一致しない人

◆ノンバイナリー (Non-binary)

性別二元論から離れ、男性、女性のいずれでもない性自認を持つ人。似たコンセプトに日本で生まれた「Xジェンダー」もある

◆シスジェンダー (Cisgender)

出生時に割り当てられた性別と性自認が一致している人

(Memo)

(Memo)

早稲田大学LGBTQ+ 学生生活サポートガイド Version 9



2026年 3月 発行

編集発行者

早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・センター
ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）

問い合わせ先

gswaseda@list.waseda.jp

Webサイト

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/>

無断コピーおよび無断転載を禁じます。コピー・転載・引用等される際には、
必ずメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。
